

2歳未満は要注意！ RSウイルス感染症

秋から冬にかけて多くなる「RSウイルス感染症」。感染力が強く、2歳までにほぼ100%感染するともいわれます。年齢が低いほど重症化しやすく、呼吸困難になったり、気管支炎、細気管支炎、肺炎などの合併症を起こしたりすることもあるので「かぜかな」と感じたら、念のため病院へ行きましょう。

38～39℃
の高熱

セイセイとい
う呼吸音

激しいせき

鼻水

せきがひどいときは……

- 体を起こすが、縦抱きにして背中をさする
- 室温は上げすぎず、加湿する
- 水分を少しずつ、ゆっくり飲ませる



救急箱の中身、チェックしていますか

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもに備えて救急箱の整理をしましょう。救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを清潔な入れ物に入れておけばOKです。但し、滅菌ガーゼや薬は使用期限があります。テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。



□絆創膏

□体温計



□常備薬



□ガーゼ 医療用テープ



□毛抜き ピンセット

ほけんだより 9月号



令和7年9月1日
粉河保育園
看護師 山田 昇子

まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすくなりました。元気いっぱい夏を過ごした子どもたち。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気をつけましょう。先月はちゅうりっぷ組でRSに感染した子どもが多くみられました。潜伏期間は2～8日程あるため、発熱や呼吸器症状があれば注意してください。

脳や神経は6歳までに80%が出来上がる

ゴールデンエイジとは、人間の一生のうちでもっとも運動神経が発達する時期。名前のとおり「黄金の年代」と言われるだけあり、子どもの成長においてとても貴重な期間です。

具体的には、およそ6～12才頃を指します。人間の発達過程の話などではよく使われる右記のグラフ。これを「スキャモンの発育曲線」と言います。「神経系」と書かれた線を見てわかるように、人の神経回路の発育量は6才までにおよそ80%、12才になる頃にはほぼ100%に達しています。ゴールデンエイジ手前の時期である2～6才頃は「プレゴールデンエイジ」と呼ばれ、この時期もゴールデンエイジの期間同様に、子どもにとってとても大切です。

プレゴールデンエイジと呼ばれる時期から、いろいろな運動・動作を経験することがとても大切です。階段の上り下りなどの日常生活の中はもちろん、室内でのブロック遊びやおままごと、また砂場遊びなどの公園遊びなど子どもが興味を示すものはどんどん積極的に取り組ませてあげることが重要です。

鼻血が出た時の応急手当

鼻血が出た時はまず、椅子に座らせて少し前かがみの姿勢で小鼻を強めにつまむ。口の中に血がたまっていたら吐き出させる。鼻の付け根を冷やすのも良いでしょう。

鼻血が出た時に上を向かせると、血がのどに流れて吐き気をもよおす場合があるので、頭は下に向かせましょう。



スキャモンの発育曲線

